

Kレバー（空錠・内締錠・表示錠・戸襖錠）取付説明書

取付けをされる業者の皆様へ

取付後、本書は必ず御施主または御入居様へお渡し下さい。

一般住宅屋内用
(浴室は除く)



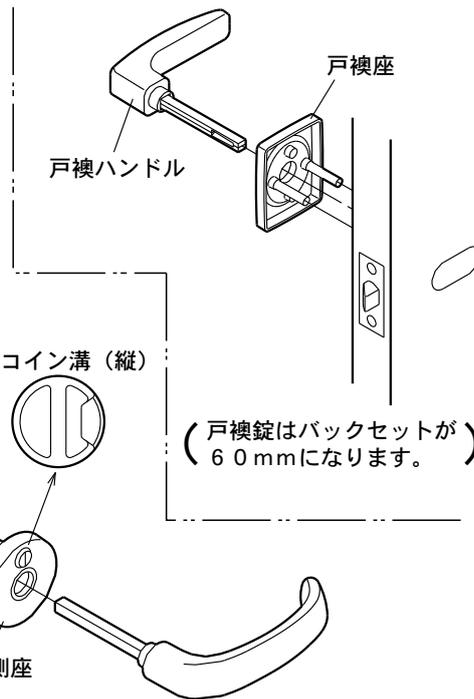
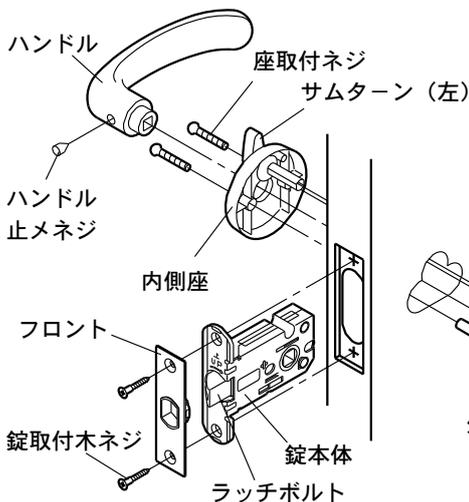
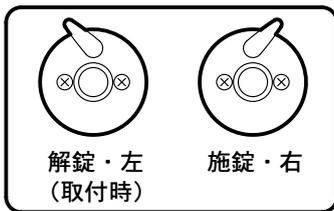
電動ドライバーは
使用しないで下さい。

取付上の注意

※本製品は、玄関や屋外では使用しないで下さい。

※ハンドル止メネジ及び座取付ネジは必要以上に強く締め付けしないで下さい。
(座本体やネジ・取付柱を傷める恐れがあります。)

※サムターンの試し動きをされる場合、右下図のようにプレス板が斜めの状態でサムターンを無理に廻しますと、中の部品が破損し、施錠出来なくなります。必ずハンドルを差し込んでプレス板を水平にしてからサムターンを回して下さい。



サムターンを試し動きされる場合

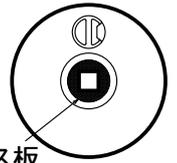
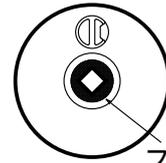
※必ずハンドルを差し込んでからサムターンを回して下さい。



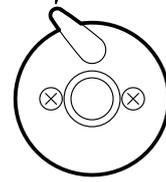
プレス板が斜め



プレス板が水平



サムターンを回さない



取付方法

- 裏面の取付型紙を参考にして、扉に彫込みをして下さい。
- 錠本体の刻印を上にして扉に挿入し、ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてからフロントを取付け、錠取付木ネジで固定して下さい。(戸襖錠の場合は、錠本体を回転させます。)
- 外側座のコイン溝を縦、内側座のサムターンを上図のように左に傾けて、サムターンの穴に外側座の施解錠レバーが入るように座を組合わせ、座取付ネジで仮止めします。
- 芯出しのため、両側のハンドルを必ず差し込み、ハンドル及びサムターンがスムーズに動くことを確認してから、座取付ネジを締め付けて下さい。また、サムターンを回して正しく施解錠するかどうか確認して下さい。
- ハンドル止メネジでハンドルを固定して下さい。

取扱上の注意

- ネジがゆるんだ状態で使用していると、錠に負担がかかりドアが開かなくなる重大な事故になる場合があります。ネジの増し締めをお願い致します。
- レバー・ハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないで下さい。

表面のお手入れについて

- 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
- 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
- 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に少量の中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

